

# 真山仁とニッポンの10年

※著書の表紙画像は、基本的に文庫版を掲載

	日本と世界	総理大臣	著書(単行本化されていない連載含む)と映像化
<b>2001年</b>	4月 小泉内閣誕生 9月 米9.11テロ	小泉純一郎	
<b>2002年</b>	2月 いざなみ景気 ~08年2月		
	3月 イラク戦争勃発		
<b>2003年</b>	8月		生保破綻危機の裏側 『ダブルギアリング 連鎖破綻』(共著)
	10月 JAXA発足		「ハゲタカ」ファンの内実 『ハゲタカ』上下
<b>2004年</b>	12月		『虚像の砦』
			テレビ局が内包する危うさ 『マグマ』
<b>2005年</b>	6月		『バイアウト』上下
	秋号		加熱する買収合戦が織りなす人間ドラマ 『マグマ』
<b>2006年</b>	9月 郵政解散	安倍晋三	『ハゲタカ』NHKドラマ
	2月		『マグマ』
<b>2007年</b>	3月		思惑入り乱れる国際エネルギー戦争 『ペイジン』上下
	6月		『ハゲタカ』
<b>2008年</b>	7月 新潟県中越沖地震	福田康夫	
	9月		
<b>2009年</b>	12月		
	2月		
<b>2010年</b>	3月		
	6月 オバマ・アメリカ合衆国大統領就任		
<b>2011年</b>	8月 衆院選で民主党圧勝	鳩山由紀夫	『レッドゾーン』上下
	9月		ハゲタカ第3弾! 自動車メーカーの窮地 映画『ハゲタカ』
<b>2012年</b>	12月		
	2月		
<b>2013年</b>	3月	菅直人	『プライド』
	6月 「大阪維新の会」創設		譲れない矜持を描いた初短編集 『真山仁が語る横溝正史』
<b>2014年</b>	7月 「はやぶさ」帰還	野田佳彦	
	9月 尖閣問題		
<b>2015年</b>	12月 東日本大震災・福島第一原発事故	安倍晋三	『コラブティオ』
	6月		震災後の原発政策にみる政治腐敗 『黙示』
<b>2016年</b>	7月		『地熱が日本を救う』
	8月		
<b>2017年</b>	9月 米国債格下げショック		『グリード』上下
	10月		ハゲタカ第4弾! リーマン危機と 強かな米国による翻弄
<b>2018年</b>	11月		
	12月 橋下・大阪市長就任		
<b>2019年</b>	1月 人口減少社会の到来		
	3月		
<b>2020年</b>	5月 プーチン・ロシア大統領就任		
	6月~7月		『マグマ』WOWOWドラマ
<b>2021年</b>	7月 生活保護受給者が過去最多		
	内閣府・宇宙戦略室発足		
<b>2022年</b>	8月		
	9月 「日本維新の会」結党		
<b>2023年</b>	10月	安倍晋三	『当確師』(読売プレミアム)~14年5月
	12月 衆院選で自民圧勝		農薬を巡り交錯する正義 『黙示』
<b>2024年</b>	1月		
	2月 幸田・東京都知事就任		
<b>2025年</b>	3月		『地熱が日本を救う』
	4月 消費税8%		
<b>2026年</b>	5月 増田寛也氏ら地方消滅・極点社会論を発表		『グリード』上下
	9月		ハゲタカ第4弾! リーマン危機と 強かな米国による翻弄
<b>2027年</b>	10月		『そして、星の輝く夜がくる』
	12月		東日本大震災後の希望をつづる連作短編集 『壳国』、『オペレーションZ』(新潮45、連載中)
<b>2028年</b>	1月		宇宙開発の影で揺らぐ国益と正義の幻影 『雨に泣いてる』
	2月 ISによる日本人拘束事件発覚		過酷な震災取材を通して問われる罪と罰 『バラ色の未来』(小説宝石、連載中)、『それでも夜は明ける』(ハピルス、同)
<b>2029年</b>	4月 日経平均株価が15年ぶりに2万円台回復		
	5月 橋本徹大阪市長が政治家引退を表明		
<b>2030年</b>	6月 公職選挙法改正案が可決		
	7月		『雨に泣いてる』
<b>2031年</b>			『バラ色の未来』(小説宝石、連載中)、『それでも夜は明ける』(ハピルス、同)
<b>2032年</b>			『壳国』
			文藝春秋 1750円
<b>2033年</b>			『泣雨』
			幻冬舎 1600円
<b>2034年</b>			『壳国』
			ダイヤモンド社 1500円
<b>2035年</b>			『ハゲタカ外伝 スパイ럴』
			ハゲタカのサイドストーリー。 次代の町工場とともにづくり再生を問う